

会 議 記 録

名 称	中央区基本構想審議会（第3回）	
開催年月日	平成28年8月24日（水）18:30～19:40	
場 所	中央区役所本庁舎10階 第一委員会室	
出席者	委 員	竹内誠（会長）、市川宏雄（職務代理）、和気康太、金井利之、榊原美樹、石田英朗、磯野忠、田中広一、志村孝美、渡部博年、青木かの、杉原慶一、平野熙幸、鹿島新吾、古屋勝彦、中野耕佑、小林高光、三田芳裕、松岡肇、森山照明、三田富貴子、市川尚一、大辻正高、山本泰人、岩田享也、大北恭子、中山華子、梶原寸真子、松本紗智、今井健、齊藤進、吉田不曇、島田勝敏
	幹 事	平林治樹（企画部長）、田中武（総務部長）、長嶋育夫（区民部長）、黒川眞（福祉保健部長）、望月秀彦（環境土木部長）、田村嘉一（都市整備部長）、林秀哉（防災危機管理室長）、古田島幹雄（高齢者施策推進室長）、中橋猛（中央区保健所長）、高橋和義（教育委員会事務局次長）、濱田徹（企画財政課長）、御郷誠（企画部副参事（都心再生・計画担当））、園田典子（広報課長）、吉原利明（総務課長）
配布資料	中央区基本構想審議会（第3回）次第 中央区基本構想審議会委員名簿 中央区基本構想審議会（第3回）座席表 資料1 中央区基本構想審議会専門部会報告 資料2 中央区基本構想審議会専門部会報告（概要） 資料3 起草委員会の設置について（案） 資料4 今後のスケジュール	
議事の概要	1 開会 2 議題 （1）中央区基本構想審議会専門部会報告について （2）起草委員会の設置について （3）今後のスケジュールについて （4）その他 3 閉会	

1 開会

出席者及び配布資料の確認。

2 議題

(1) 中央区基本構想審議会専門部会報告について

安心部会、快適部会及び躍動部会の各部会長から、専門部会における審議結果を資料1「中央区基本構想審議会専門部会報告」及び資料2「中央区基本構想審議会専門部会報告（概要）」に基づき報告。

安心部会報告	和気 安心部会部会長
快適部会報告	市川 快適部会部会長
躍動部会報告	金井 躍動部会部会長

竹内会長 報告内容について質問等があればお願いしたい。

市川(尚)委員 「中央区基本構想審議会専門部会報告」の「快適部会報告」における「(イ) 世界に発信する魅力的なまちづくり」の中で銀座に触れていないので追加をしていただきたい。

市川(快適部会)部会長 対応は考えるが、資料1「中央区基本構想審議会専門部会報告」の28ページの「(1) 現況と課題」において、銀座は「日本一のショッピングストリート」と記載しており、すでに確立されているという前提があった。「(イ) 世界に発信する魅力的なまちづくり」ではこれから頑張ることを書いたという意識である。

市川(尚)委員 中央区で銀座は世界への発信力が最も強く、さらに輝いてほしいということで追加をしていただきたい。

市川(快適部会)部会長 ご意見に反対はないが、「(イ) 世界に発信する魅力的なまちづくり」での記載は都市空間の意識が強い。例えばウォーターフロントなどの都市空間をどうやって変えていくかということや歴史的な経緯とまちが持っている自然景観を含んだ中で記載している。銀座の場合はビル街をいかに変えていくかという話になるため、記載にあたってはトーンを考える必要がある。銀座の場合は近代的な部分でトップを走っているため、その辺りを踏まえながらご趣旨に沿うように考える。

(2) 起草委員会の設置について

事務局から、資料3「起草委員会の設置について（案）」を説明。

竹内会長 説明内容について、質問等があればお願いしたい。

金井委員 起草委員会の設置根拠は条例のどこを見れば良いのか。

事務局 「中央区基本構想審議会条例」に起草委員会の設置根拠はない。基本的には会長の発議で設置するという理解である。

金井委員 条例の読み方としてそれが可能なかご確認いただいた方が良い。専門部会の一の名前として「起草委員会」と置けば、「中央区基本構想審議会条例」第10条に基づくかと思うが、明確な根拠がない上で母屋から建て増しをするのは外部から見るとよく分からないと思うため、根拠を整理していただきたい。

志村委員 「起草委員会委員構成（案）」について、リシャール コラス委員は審議会には一度も出席していないと思う。専門部会にも出席していないのであれば、審議内容が分からない中で起草委員としての役割を果たせるのかと思うため、専門部会の出席状況についてお伺いしたい。

事務局 リシャール コラス委員には専門部会4回のうち2回に出席していただいております、審議内容等についても、開催後に事務局からお知らせしている。

山本委員 各部会の報告内容には「緑・自然」、「安全・安心」、「歴史・文化」など重複しているテーマがある。起草委員会で各部会の報告をまとめる際には、各部会報告が最初に来るような起草ではなく、全体をとりまとめる横軸として、中央区全体のイメージを最初に表現していただきたい。

先程「銀座はビル街」というお話があったが、必ずしもビル街だからビルを建てていくということではないと思う。そのような場所に自然や緑の空間があっても良く、あるいはさらにビルを建てなければいけないところもあるかもしれない。ビルと自然の調和を考えるとといったように、もう少し相互の乗り合いが入らないと全体のイメージがまとまらないのではないかと感じた。

竹内会長 各部会の3つの軸を横断する格好で相互の調整をする作業は、起草委員会で答申書を作るにあたっては必要であると思う。その作業に関しては、大勢ではなかなかまとまらないため、起草委員会を設置して、専門の方々でたたき台を作成するという趣旨である。山本委員の意見については非常に同感である。事務局としてはいかがか。

事務局 今後起草委員会を進めるにあたっては、山本委員からのご意見にもあったように横断的に全体イメージを表現していきたいと考えている。

竹内会長 事務局には起草委員会の設置根拠についても説明できるように整理していただきたい。

他に質問がなければ拍手でご承認いただきたい。

(拍手により承認)

(3) 今後のスケジュールについて

事務局から、資料4「今後のスケジュール」を説明。

(4) その他

質疑等なし。

3 閉会

竹内会長の閉会宣言により終了。